

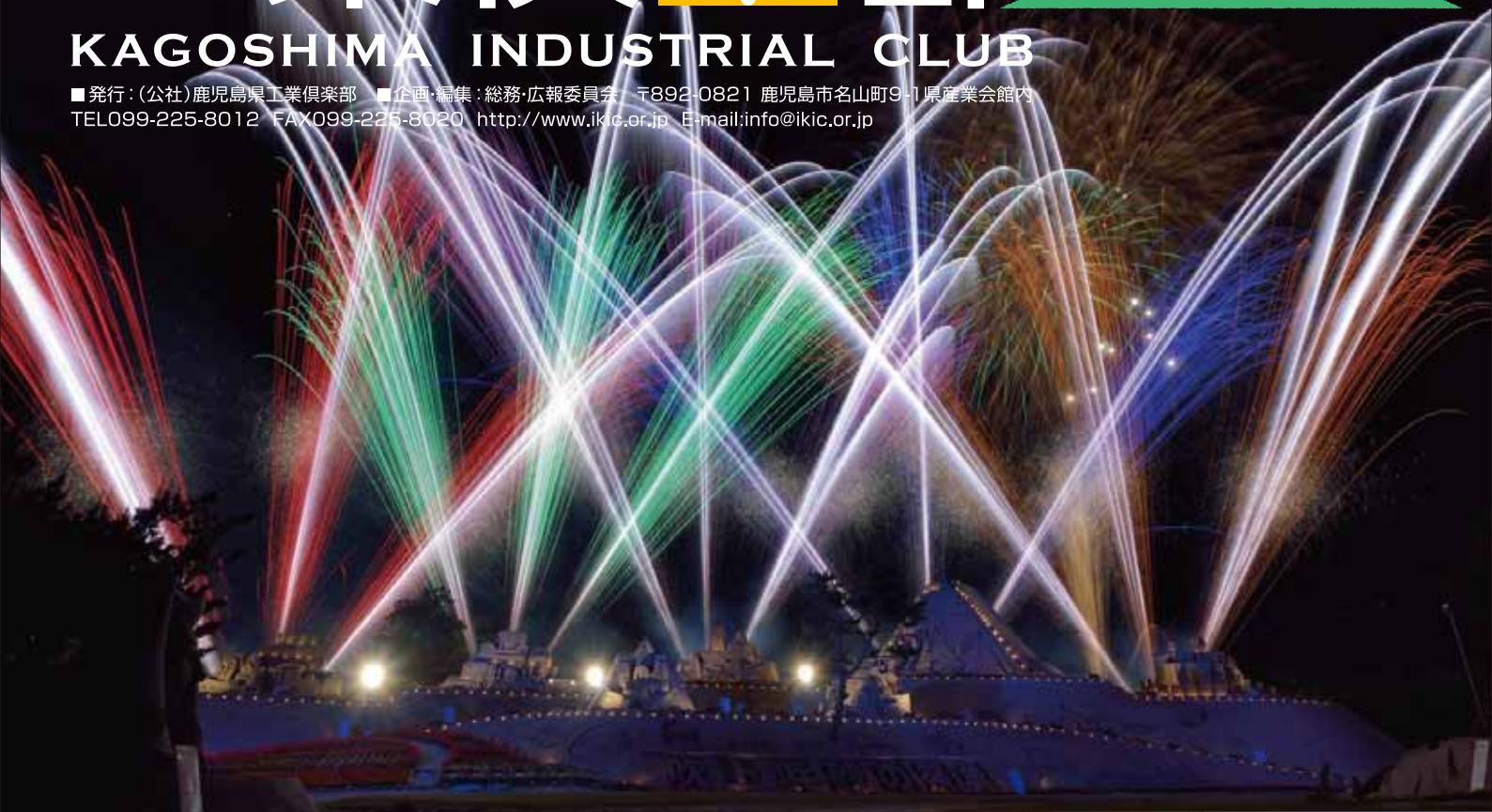
工業俱楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

■発行:(公社)鹿児島県工業俱楽部 ■企画・編集:総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 <http://www.ikic.or.jp> E-mail:info@ikic.or.jp

58

2016年6月



平成28年 公益社団法人
鹿児島県工業俱楽部通常総会
事務局からのお知らせ
新会員情報
若手経営者・後継者紹介



平成
28年

公益社団法人

鹿児島県工業俱楽部通常総会

◆日時 / 平成 28 年 5 月 16 日(月) ◆会場 / 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)

平成 28 年 5 月 16 日(月)、城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)において、多数の来賓ご臨席のもと、平成 28 年通常総会が開催されました。恒例の講演会には、原口泉氏をお迎えし、「下町ロケットからあさが来た! 日本のものづくり原点」という演題で実施されました。

会長挨拶

(公社)鹿児島県工業俱楽部
会長 岩元 正孝



本日は、公益社団法人鹿児島県工業俱楽部通常総会のご案内をさしあげましたところ、鹿児島県知事伊藤祐一郎様、鹿児島大学学長前田芳實様はじめたくさんの方々にご出席いただきました。ありがとうございます。

1995年1月17日5時46分の阪神淡路大震災以降、確実にいろいろな災害がおこっています。本年は4月14日に熊本の方で大変大きな地震がございました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りしたいと思います。

さて、世界経済は、はなはだ不透明で、IMFの見通しによりますと4回続けて経済成長率を下方修正しております。経済は景気循環がありますので、どうしても景気の下降過程から避けることはできませんが、そういった中から新しいいろんなことがおこって、時代が前に進んでおります。産業革命を見てみると、最初毛織物・綿織物を中心とした繊維工業をはじめとする軽工業が発展し、それを追って重化学工業が発展をいたしました。そして今、情報通信革命がおこりまして、その変革の真最中でございます。本日は後ほど、講演で原口先生のお話をいただきますが、原口先生のテーマの中に、五代才助という人がでてまいります。五代才助の薩摩藩に対する上申書が残っております。これは、薩英戦争の翌年の1864年6月に、才助が藩に出したものでございます。

す。いわく、1つ、米・海産物などを上海に輸出してそれにより利益を得る。2つ、その利益で製糖機械を購入し、砂糖を製造・販売して収益を得る。3つ、砂糖輸出で得た収益で留学生を派遣、そして同行する才助が軍艦、大砲、小銃、紡績機械を買い付ける。4つ、貿易だけでなく、学校、病院、化学、印刷、鉄道、電話設備などの産業革命の充実を図る。という内容で、とても立派な上申書ですが、みなさん、上申書を時代考証した時何かひっかかるることはございませんでしょうか。当時まだ国は開かれておりません。なのにどうして五代才助は、米、海産物を上海に持つていてこれで売れて利益が得られるということを知っていたのでしょうか。あるいはその利益で製糖機械を買って砂糖を作れば大きな利益が得られる。そのお金を使えと言っています。

国外へ出るということは国禁を犯すことになるけれど、それだけのことを五代才助が伝聞、だれかから教えてもらって上申書を書いたとはとても思えない。おそらく何回か国禁を犯して上海に渡っていたと推察できます。

先ほど情報通信革命という話をしましたけれど、まさに国禁を犯してやるぐらいの、そういう大きなことを今やらなきゃいけない時代になっていると思います。昨今新聞でAI(人口知能)のことを盛んに言っていますけど、AIの例で面白いなと思ったのは、海で養殖漁業をやっておりますが、養殖漁業は環境を汚染いたします。AIを導入すると魚が餌を食べたい時につづくと餌が出てくる、餌を食べたくないときには餌が出ない。よって海を汚さないという養殖の例がでておりました。これは、AIを利用した大変すばらしい経営だと思います。ぜひみなさんと知恵をしづらまして、養殖漁業に負けないAIの利用をやっていきたいと思います。

本日は長丁場ですが、どうぞ最後までよろしくお願ひいたします。ありがとうございます。

来賓挨拶

国立大学法人鹿児島大学
学長 前田 芳實氏



鹿児島大学長の前田でございます。

平成 28 年度公益社団法人鹿児島県工業俱楽部通常総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

鹿児島県工業俱楽部様におかれましては、平成 3 年 4 月 1 日の法人設立から実に 4 半世紀にわたって、鹿児島県の産業振興や雇用拡大、新規事業の拡大など地域経済の発展に貢献し続けてこられたことに深く敬意を表します。鹿児島大学にとりましても、とりわけ平成 17 年度の包括連携協定締結を契機に、産学交流企画の実施を進めております。また、学生支援に対しましても多大なるご支援をいただいておりますこと、心から御礼申し上げます。またその中で、平成 23 年度からは毎年、工業俱楽部様と本学と共同いたしまして「食と健康に関するシンポジウム」を開催してまいりました。これまで 5 回のシンポジウムを積み重ねてまいりまして、地域の食と健康という観点からもいろんな事業の推進等にも大きな働きをしているものでございます。

また学生支援につきましても、優秀な研究業績を挙げました大学院生に対しまして「鹿児島大学工業俱楽部賞」を授与させていただいております。学生の大きな励みとなり、モチベーションを高める大変大きな役割を担っていただいております。この点に関しまして、学長として深くお礼申し上げます。

本学は昨年度より、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生事業（COC+）」に採択されました。COC+事業は、地域志向を持つ学生を育て、そのことによって地域に職をちゃんと求め、地域活性化に貢献する人材を育てるという、教育とその後の学生が地域で活躍するようなシステムを大学と地域で一緒につくるという事業でございますけども、これは鹿児島大学のほか7つの高専・4年制大学・短期大学を含めまして、オールかごしまで地域に貢献する人材を育てるという仕組みを今つくりつつあるところでございます。COC+事業は、地域産業における雇用の拡大と新規雇用の創出を図るとともに、地域が必要とする人材を養成するための教育カリキュラムの改革にも力を注いでおります。さっそく本年度の新入生から、鹿児島を知り、鹿児島で働く実践力を育てる教育プログラムを履修するような仕掛けを推進していきます。COC+事業の主な目的は、県内の8校の新規卒業者を地元に就職させるわけでございますけども、現在の実績は54%程度です。それを今度5年間の間に、7.5%さらに増加させまして61.5%まで高めるという、そういう計画をつくっているところです。目標達成のためには、卒業者の雇用だけでなく、この間のインターンシップの受け入れ、またキャリア教育などで、工業俱楽部の皆さまのご助言やご支援をいただきながら進めるということが不可欠でございます。また、日本人学生だけでなく外国人留学生の地域雇用へ



の取り組みも企業と大学の綿密な連携の下で進める必要があります。これまで以上のご理解とご協力のほどを何卒よろしくお願ひ申し上げたいと思います。

鹿児島大学は、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学を目指しています。平成28年度を起点とする第3期中期目標・中期計画期間におきましては、南九州及び南西諸島の「地域活性化の中核的拠点」としての機能の強化を明確に打ち出しております。引き続き地域の課題としまして、「島しょ」「環境」「食と健康」「エネルギー」「水」の5つの領域に重点を置きまして、企業や地域と連携しまして課題解決をめざす研究を、全学横断プロジェクトとして積極的に進めてまいりたいと思います。これからも、共同研究や技術相談、経営課題や地域の活性化など様々な事柄でお悩みの際には、鹿児島大学へどうぞお気軽にご相談いただき、ご活用いただければと思います。

最後になりましたが、工業俱楽部様と鹿児島大学とのさらなる連携と、会員の皆さまのさらなるご発展を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶

鹿児島県商工労働水産部次長
堀之内健郎氏



本日、平成28年度公益社団法人鹿児島県工業俱楽部、通常総会が盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

はじめに、去る4月14日に発生しました平成28年熊本地震でお亡くなりになられた皆様に対し心から哀悼の意を表しますとともに被災された皆様に対しお見舞いを申し上げます。本県といたしましても被災地の復旧・復興に向けた支援を全力で行ってまいります。

さて、本日御出席の皆様方には日頃から本県産業の振興に多大な御支援・御協力をいただいておりまして深く感謝を申し上げます。

ところで、最近の我が国の景気の先行きについては、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行きなどにより景気が下押しされるリスクがあるものの、国内の雇用・所得環境の改善が続くなれて穏やかな回復基調が続くと言われております。

また、県内経済におきましては、生産部門は全体として横ばいで推移する中、個人消費は底堅く観光も高水準で推移するなど、景気は緩やかに回復しつつあるとされておりますけれども、熊本地震による影響が懸念されるところでございます。

このような中、本県では経済基盤を安定したものとしていくために、産学官の関係団体が一体となって取り組むべき方向性を取りまとめた「かごしま製造業振興方針」を今年3月に改訂いたしまして、これまでの「自動車・電子・食品」の重点3分野に加え、今後成長が見込まれる「環境・新エネルギー」「健康・医療」「バイオ関連産業」に今回新たに「航空機関連産業」を加えた「新成長産業」4分野において、県内企業の参入支援や取引拡大、技術開発支援等を行ってまいります。

製造業の振興につきましては、今後とも、皆様方が日頃から取り組んでおられる活動や実践を通じた貴重な御意見を参考しながら、本県の産業施策に反映させていきたいと考えておりますので、皆様方の御支援・御協力をお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人鹿児島県工業俱楽部の今後ますますの御発展と、皆様の御健勝・御活躍を祈念いたしましてあいさつといたします。

特別講演



講師

志学館大学教授
鹿児島県立図書館館長
原口 泉氏

演題

「下町ロケットからあさが来た!
日本のものづくり原点」

新会員情報

会員名

九州電力株式会社
鹿児島支社 原 英生

所属・役職

執行役員 鹿児島支社長

- 住 所 〒890-8558
鹿児島市与次郎2-6-16
- T E L 099-253-1120
- F A X 099-285-5349



当社はこれまで、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランド・メッセージとする「九州電力の思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長を続けてきました。

電力市場が自由化される中にあっても、経営環境の変化をチャンスと捉え、お客さまから信頼され、選ばれ続ける会社であるために、「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループを目指し、九州のお客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えするとともに、これまでの事業運営で蓄積した技術・ノウハウを活かし、新たな成長に向け取り組んでまいります。

~~~~~

## 会員名

小谷 俊明  
テクニカルコーディネーター  
照明コンサルタント

- 
- 住 所 〒890-0068  
鹿児島市東郡元町18-12-1202
- 

E-mail : toshiaki@cocoa.plala.or.jp



歴史ある工業倶楽部に入会させていただき、ありがとうございます。

私は、「旧渕上ミクロ(株)」から社名変更し「モレックス喜入(株)」を平成26年に卒業しました。その後、御縁をいただき(一財)九州産業技術センターの専門家、鹿児島人材コーディネート協議会の事務局を経て、今年4月より鹿児島大学発ベンチャーのお手伝いをすることになりました。これまで皆様にたくさん支えてもらいましたので、これからは、郷土に恩返しきべき番に来たと考えています。これからお仲間の一人として、引き続きご指導賜りますようどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

~~~~~

会員名

野呂 忠秀

所属・役職

鹿児島県立短期大学・学長

-
- 住 所 〒890-0005
鹿児島市下伊敷1丁目
52番1号
 - T E L 099-220-1111(内線100)
099-803-4473
-



鹿児島県立短期大学(県短)は、文学科、生活科学科、商経学科からなる学生数約500名、教職員数70名の南九州唯一の公立短期大学です。附属地域経済研究所には、皆様からのご相談に応じ学内教員との橋渡しをする専門職員もいます。鹿児島県のお茶やカツオについては既に活発なプロジェクト研究が行われており、他にも奄美を含む鹿児島県をフィールドとした地域文化、食品、商業、経済に関する研究が活発です。1万5千人の卒業生は、鹿児島県内外で活躍しておりますが、その誠実な人柄や信頼のおける仕事ぶりには定評があります。

社員の採用、経営戦略、共同研究、夜間部や聴講生制度を活用した社員教育などにご活用ください。

~~~~~

## 会員名

脇野 真梨江  
株式会社Climbest  
(クラインベスト)

- 
- 住 所 〒892-1815  
鹿児島市易居町1-2  
ソーホー鹿児島11号
  - T E L 099-811-0349  
● F A X 099-811-0349
- 

E-mail : m.wakino@climbest.co  
URL http://www.climbest.co/



工業倶楽部に入会させて頂き有難うございます。平成17年から6年間、海外にて生活をしておりました。海外では国籍に関係なく一人の人間として沢山の方々に助けて頂きました。帰国後、言葉が解らず困っている外国人の方を見ると、海外へ行ったばかりの自分自身と重なり、これこそ私自身に出来る恩返しなのではと思い、昨年11月起業致しました。主に英語・中国語・韓国語で企業様ホームページやパンフレット等の翻訳、飲食店様の外国語メニュー制作等を行っております。言葉はただのツールでしかありませんが、海外の方が少しでも不自由なく過ごせる、日本の方と海外の方が共存共栄出来る地域を目指しております。

どうぞ宜しくお願い致します。

~~~~~

会員名

小園 政昭
有限責任監査法人
トーマツ鹿児島事務所
シニアマネジャー、公認会計士

-
- 住 所 〒892-0844
鹿児島市山之口町2-30
鹿児島第一・海上ビル
 - T E L 099-239-2283
-



このたびは、工業倶楽部に入会させていただき、ありがとうございます。私は、大学卒業後、鹿児島県庁に入庁し、10年ほど勤務いたしましたが、在職中に公認会計士試験に合格したことから、有限責任監査法人トーマツに転職し、現在に至っています。トーマツでは当初は上場会社等の会計監査を行っていましたが、現在は中小企業経営支援を中心に業務を行っています。

日頃はお会いすることのできない鹿児島の経営者の方々とお話ができるることを非常に楽しみにしています。至らぬこともあるかと存じますが、引き続きご指導賜りますよう何卒よろしくお願ひいたします。

地域の未来を創る、次代を担う若手経営者・後継者紹介

先達の開拓精神や生業を通して的好奇心が今を創り、その姿を通して、新しい物づくりへまた挑む日々!

そんな気概のあるお話を今回文字に表現できない程賜りました。

辛酸・苦惱・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を託して次の代へ。



(株)中崎電子工業 専務取締役 中崎 啓文(39歳)

当社は、空港関連無線設備の施工・保守に特化した技術をもっており、放送局「FMぎんが」を自ら運営することにより、痒いところに手が届くFM放送関連機器の開発が可能です。放送機器の開発元であるという強みを活かし、機材トラブル時の早急な対応や、新しい技術の積極的な導入が可能になっています。

当社では、それぞれの現場の材料仕入れから施工・管理までを中堅以上の社員一人一人に任せる体制をとっているため、少人数で複数の現場をこなすことが可能な上、各社員には責任感と達成感を持って仕事をしてもらっています。

普段から現場での判断や声を優先し、一緒に考えていくようにしています。航空無線に関しては今まで以上に技術的な向上を目指し、確実に柔軟に小回りの利く体制で、これからも頑張っていきたいと思っています。

「FMぎんが」は、若者のラジオ離れや、スタジオのある伊敷団地の人々の高齢化、他局との差別化などを考慮し、可能な限り50代以上の世代を対象とした内容の放送を心がけ、多くのボランティアスタッフと一緒に局の方針や番組作りを考えていきたいと思います。また、災害時などに一番求められる身近な情報を速やかに発信できるように普段から地域密着型のラジオ局として頑張っていきたいと思います。

かごしまFM786《FMぎんが》
伊敷団地を中心に鹿児島市内の
約80%で可聴で
きる地域密着型
のラジオ局です。



絵画の趣味をもつ
啓文氏が描いた
長女の水彩画。



株式会社中崎電子工業

〒890-0045 鹿児島市武3丁目20番18号
TEL 099-255-1637 FAX 099-259-2620
URL <http://www.nakazakidenshi.co.jp/>

代表取締役 中崎 宗治(70歳)



「若者の雇用枠拡大について」

6月1日（水）に、鹿児島労働局、鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市から、若者の雇用枠拡大について要請がありました。以下、工業俱楽部へお見えになった方々です。

- ・鹿児島労働局（江原由明局長）
- ・鹿児島県（西啓一郎商工労働水産部長）
- ・鹿児島県教育委員会（古川仲二教育長）
- ・鹿児島市（山下正昭産業局長）

（応対者：岩元正孝会長）

トピックス



出力は当社にお任せ下さい！（1枚からでもOK）

ポスター・横断幕・垂れ幕・会次第

GISA 一般社団法人 地理情報システム学会

第20回 学術研究発表大会

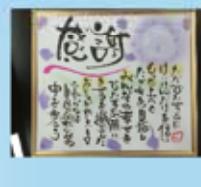
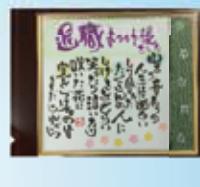
*大型カラー印刷のご用命も承ります。
お気軽にお問合せ下さい。



レーザー彫刻加工&熱プレスを使用したカラー転写技術

木材(スギ・ヒノキ)での手作り名札・お箸の名入れ
アクリル・ガラス彫刻など

箸の名入れ



言葉の贈り物（贈りたい方のお名前で言葉を作成します）
還暦・古希・喜寿・退職などのお祝いに！
誕生日・出産のプレゼントとして言葉を贈ってみませんか



屋外対応モーション起動カメラ (NAC200DN)
乾電池式・防水設計・HD 高画質撮影
いつでもどこでも簡単設置！

安心のオートロック



★ LEDで電気代の経費を削減しませんか? (LEDのご用命は当社へ)
★ 2020年には全ての蛍光灯の製造は出来なくなります。

有限公司 美光社
〒890-0006 鹿児島市下伊敷2丁目7番12号
TEL 099-218-3400
FAX 099-218-3399
<http://www.bikohsyaya.co.jp>
E-mail:info@bikohsyaya.co.jp

モバイル監視システムカメラ・タッチパネル&非接触IC式オートロック

レーザー彫刻加工・Tシャツプリント・オリジナルマグカップ・箔押し(金文字など)
各種コピーサービス(～超大判)・各種製本(現場用製本・資料製本など)・凹面トレス・出力
看板制作・カッティング文字・ポスター制作・社旗・のぼり旗・垂れ幕・横断幕
名刺印刷・カレンダー・簡易印刷・カラー印刷・シール印刷・連続帳票印刷
ビジネス電話機の販売リース・パソコンシステム導入保守・複合機・事務機器・プリンター
電子納品・各種セミナー・LED照明&機器の販売施工・監視/防犯カメラ(IP,AHDカメラ)